

Pick Up!

DAIKEN福岡ショールームにお越しく下さい

2014年6月にキャナルシティ内にオープンしたDAIKEN福岡ショールームは、お客さまだけでなく、工務店やハウスメーカーの皆さまのご提案及び商談の場としてもご活用いただいています。ご承知の通り、福岡ショールームはアライアンス先であるTOTO株式会社、YKK AP株式会社と隣接したコラボレーションショールームの形態を採っているのも大きな特徴です。また、今年から新たに公共商業用展示もスタートいたしました。

住宅用展示ブースでは、機械すき和紙を用いた畳「健やかおもて」、家事導線を意識したLDK空間イメージの展示だけでなく、DAIKENが強みとする防音室などの展示も行っています。

人気の室内ドアコーナーには、2025年6月から新発売となった新シリーズ「Ieria（イエリア）」を130本以上取り揃え、幅広いお客さまのニーズにお応えできる空間を実現しました。また、天井材や床材の機能性部分も、ご説明できる体制を整えています。LDKだけでなく洗面やトイレ、収納スペースなどの「空間展示」も多数ご用意しているのも強みです。

なお、当社は2025年9月26日に創業80周年を迎え、社名を大建工業株式会社からDAIKEN株式会社へと変更しました。新たなコーポレートメッセージは「ずっとここちいいね」です。創業以来培ってきた地球環境に配慮した素材技術を活かし、皆さまが「ここちいいね」と感じていただける空間と暮らし方を今後もご提案してまいります。



DAIKEN 福岡ショールーム

住所:〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25 キャナルシティ・ビジネスセンタービル3F
開館時間:10:00～17:00 休館日:水曜日(祝日の水曜日は開館、その他休館日あり)
TEL:092-235-0111 FAX:092-235-0110

NEWS!

九州沖縄事務局からのお知らせ

今後の活動における「4つのポイント」

九州沖縄エリアのWGでは、今後の方針決定だけでなく、運営上の課題や仕組みの見直しも随時行っています。その中で、特に皆さまにお伝えしておきたい点を共有させていただきます。

❶「忘年会」は「年次総会」へ

近年の忘年会では著名なゲストをお招きし、福岡RBSと合同開催としていました。今年度からは忘年会を「九州沖縄エリア部会 年次総会」へと衣替えし、より参加しやすい会合へと生まれ変わります。2026年2月初旬に開催予定です。

❷福岡支部長を選任し活動を強化

現在、福岡エリア（北九州、久留米含む）の活動は、WGの担務となっています。他支部と異なり、福岡エリアには不動産会社やメーカー、非請負事業者も多

数加盟しています。そういった多様な会員に参加意義を高めてもらえるよう、来期からは「福岡支部長」を選任し、よりアクティブな活動を目指します。

❸RENOVATION NOWの見直し

前年度にスタートした「RENOVATION NOW」の見直しを検討中です。吉田恵美さんの基調講演は盛会でしたが、参加企業数は前年度より減少しています。実情を踏まえ、来期の活動を再検討中です。

❹若い世代向け「研修会」を福岡で開催

エンドユーザー向けリノベーションに取り組む若手スタッフ（実年齢ではなく、経験則）を対象にした研修会を計画中です。時期は2026年1月後半を予定しています。最先端事例の習得ではなく、日々の実務で役立つ営業上のスキルや、デザイン力アップを目指す研修企画です。

九州沖縄エリア部会 事務局 原文美

沖縄RBSセミナー開催報告&御礼

9月25日にバナソニックショウルーム沖縄で、リノベーションビジネスセミナー（RBS）を開催しました。40名の定員を上回る申し込みがあり、多くの方にご参加いただきました。沖縄の皆さま、ありがとうございます！

山崎氏（はびりの）の講演は、沖縄の建築及び不動産市況も踏まえた「マーケティングと成長戦略」だったこともあり、来場された皆さまが実際に活かせるヒントを得ることができたと思います。田村氏（タムタムデザイン）の講演では「まちづくり」に大切な視点を改めて学ぶことができ、地域社会のことを考えるきっかけとなりました。特に異邦建築ラボの取り組みについては、違法建築を「前向きに再生する」という発想に新たな可能性を感じました。

今回のように異なるテーマの講演を、一度に聞けるのは協議会ならではの魅力です。また、同時に開催したショールーム見学会も盛況で、メーカーと事業者の垣根を超えた活動のヒントになりました。今回のRBSで、開催をサポートいただいた沖縄のバナソニック関係者の皆さまに改めて御礼を申し上げます。



セミナーの様子



リノベーションナウ事務局
平成広吉宣伝事務所
土田芳史

11月以降の主なスケジュール

11月25日(火) 宮崎支部「リノベの勉強会#3」(新公民館VOL)
12月 2日(火) WG(アポロ計画)
12月11日(木) リノベーション・オブ・ザ・イヤー授賞式
(東京大学本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール)

1月13日(火) 事務局会議(はびりの)
1月26日(月) 宮崎支部「リノベの勉強会#4」(新公民館VOL)
3月16日(月) 宮崎支部「リノベの勉強会#5」(新公民館VOL)



今年のROY には、九州沖縄エリアから計26件の作品がエントリー。11月6日に発表された入賞作品の中から、グランプリほか各賞が選出されます。九州沖縄勢の飛躍に期待しましょう。また「Player's Choice」は、11月26日まで投票受付中です！

Renovation Times 一まるごと九州・沖縄一 Vol.11 2025年11月号

発行 一般社団法人リノベーション協議会 九州沖縄エリア部会
(エリア内正会員62社 / 賛助会員15社 / 2025.10.13現在)

発行人 馬越重治(エス・コンセプト) 編集長 山崎大亮(はびりの)
制作 吉田千裕(はびりの) 編集人 原文美(ハラブロ)
発行日 2025年11月10日 メール news@renovationnow.net

Renovation Timesでは、リノベーション協議会に参加されている各社の取り組みを積極的にご紹介しています。掲載をご希望の方は、お気軽に上記までご連絡ください。【次回の発行は2026年2月です】



〳まるごと〵

九州・沖縄

Renovation Times

VOL.

11

2025.11



かえる。くらし。すまい。
リノベーション協議会

地方の実情を踏まえて、
新しいビジネスと文化を
スローに生み出す。



熱量をあげないと、 選択肢に入らない

正直なところ、僕のキャラクター的にも「燃えるような熱意」があって宮崎支部を立ち上げたわけではないんです。ただ、他支部の活動に触れる中で、宮崎にもこういう場があればいいのと思っていました。

宮崎は市街地の多くが海岸線沿いであって、それぞれがかなり離れています。さらに、九州山脈に阻まれていることもあり、リノベーションに関する情報がなかなか届きにくいと感じています。そんな中、2022年に当選した若い宮崎市長が空き店舗の活性化へ向けて積極的に活動しているのを見て「支部を作るならいまかな」と思い、馬越理事に相談しました。

リノベーションをもっと身近にするためには、まず僕たち供給者側の熱量をあげないといけない。そうしないと、お客さまにとっての選択肢にも入らないと思うんですよ。そのためにはオンライン会合だけではなく、直接顔を合わせるオフラインの会合が大事だと感じました。そういう場でしか聞けない課題やお金の話って、やっぱりありますからね。

新築中心だからこそ、 スロースタートを意識

支部をスタートしたとはいえ、実務的には九州沖縄事務局の皆さんや関西支部の鯛島さん（美装空間）に助けられてばかりです。僕自身も、スロースタートを意識しています。

宮崎の住宅市場では、いまでも圧倒的に新築戸建

てが中心です。分譲マンションはほとんどなく、日南市内だと1棟しかありません。中古戸建ての買取再販に取り組んでいる会社さんはありますが、サッシや水回り交換中心のローコストな会社さんがほとんどですね。

建築費は以前と比べてかなり上がりましたが、宮崎では土地の価格はまだ上昇していません。そのため、古い建物を購入してQOL向上につながる大規模リノベを行うより、新築を建てる方がコストパフォーマンスに優れているのが実態です。また、そもそも気候が穏やかなので、国が推奨している「断熱リノベ」と言われてもピンとこない人が多い。古い建物はたくさんあり、どうかしないといけないという意識はあります。だけど、リノベーションを自分ごととして「ビジネスにしよう」という熱量は、業界内でまだ低いと思います。

地域性を理解し、 自分ごとにしていく

だからこそ宮崎支部として取り組むべき活動は、



今年、宮崎市主催のセミナーが開催された。建築で街を変えるエリアルノベーションで知られる、スターパイロットの三浦氏が講演。

TOPIC!

新加盟社のご紹介

福岡支部

今より眺めの良い毎日を

私たちレトリックは、「今より眺めの良い毎日を」をビジョンに掲げ、不動産と建築のプロフェッショナルが連携し、お客さまの住まいをトータルにサポートしています。グループ会社の不動産仲介専門会社「MAVES」、土地家屋調査士法人「レトリック」との総力で、不動産売買からリノベーションを一貫して提供しています。

買取再販業、リノベーション請負業を軸としつつも、不動産再生事業の一環として、築100年の古民家をリノベーションした宿泊施設「清庵」も運営、都心の隠れ家として国内外のお客さまに多数ご利用いただいています。

元ゼネコン所長の施工担当とインテリアコーディネーター、そしてディレクターが「世界に一つだけ、自分だけの住まい」をご提案し、お客さまと一緒に楽しみながら「今より眺めの良い毎日を」過ごしていただける、理想の住まいづくりを目指しています。

リノベーション協議会の皆さまとの交流を通じて、業界自体の発展にも貢献していければ幸いです。



西山 友基
(レトリック)

宮崎支部

壊すより活かす。想いをつなぐリノベーションを

有限会社南都ホームは、宮崎県都城市で「家族が笑顔で快適に暮らせる家づくり」を理念に掲げ、リノベーションを通じた住まいの再生に取り組んでいます。リノベーションの魅力は古くなった家を壊すのではなく、そこに宿る家族の想いや記憶を活かしながら新しい価値を吹き込めることです。

寒暖差の大きいこの地域では、断熱や気密の性能が暮らしの快適さを左右します。南都ホームでは断熱改修や耐震補強、第一種換気システムの導入など、目に見えない部分の品質向上に注力。外観を整えるだけでなく、家そのものの性能を底上げすることで光熱費を抑え、長く安心して暮らせる住まいを実現しています。

また、新築工事で培った高气密、高断熱、高耐震のノウハウをリノベーションにも活かし、既存住宅の構造や断熱性能向上に最適な改修を行います。資金計画の段階から丁寧にサポートし、「建て替えるほどではないが、いまのままでは不安」という方にも最適な提案を。小さな不具合にもすぐ対応する地域密着の姿勢で「壊すより、活かす家づくり」を続けていきます。



坂元 伸仁
(南都ホーム)

鹿児島支部

生きるを作る未来の村「obama village」

鹿児島県霧島市の一部となった隼人町小浜は、人口およそ600人。高齢化率が50%を超えている、典型的な中山間地です。そんなエリアで展開している「obama village」は、耕作放棄地（空き地）にある地域資源を活かしたプロジェクトです。エリアリノベーションの観点から、地域全体の価値向上を目指しています。当地で古くから受け継がれてきた暮らしや文化を尊重しつつ、7つのオフィスと6つのショップに働き手や生活者が集い、地域ににぎわいと交流を生み出しています。2024年11月にオープンして以降、常時50〜60人のスタッフが働く施設へと成長しました。

この取り組みを推進する「株式会社住まいず」は霧島市を拠点に置き、地材地建をものづくりの理念に掲げています。地元の木材を積極的に活用し、地域の職人とともに家づくりを行うことで、風土に合った暮らしを提案しています。また「霧島を照らす希望の星となる」を企業ビジョンに掲げ、そのビジョンを形にした「obama village」は、住まいずが掲げる思想をまちづくりに広げる挑戦であり、地域全体の再生や未来の担い手づくりを見据えた新しい取り組みです。



有村 健弘
(住まいず)

福岡支部

窓から安心と快適をお届けします

私たちジャパンシールドは、福岡市に本社を置くガラス、ガラスフィルム工事の専門企業です。40年以上事業を継続している中で、防犯や遮熱、UVカットなど多機能ガラスフィルムの施工を中心に、窓ガラス交換、カーフィルム、装飾フィルムなど幅広いサービスをご提供しています。

これまでにザ・リッツ・カールトン福岡やJR博多シティなど、福岡を代表する数多くの建物で施工実績を積み、戸建住宅から大規模施設まで対応可能な技術力を備えています。創業時から「人々が快適に暮らせる窓環境の創出」を理念とし、リピート率90%を超える高い顧客満足度を誇る当社は、安心と信頼を第一にお客さまの多様なニーズに応えてきました。

また、国家資格である「ガラス用フィルム施工技能士」の取得支援などの人材育成にも力を入れ、技術の継承と品質向上を継続しています。今後も、長年培った経験と最新技術を活かし、安心・安全・快適な住環境のご提供を続けていきます。福岡だけでなく、九州各地からのご相談も承っておりますので、お気軽にご連絡ください。



伊藤 成一
(ジャパンシールド)

全国の先進的なノウハウや成功事例の紹介だけでなく、単純に「リノベーションって、いいよね」という気持ちで共有していくこともありません。来年度はより間口を広げて、どんな方でも参加しやすいワークショップやリノベーションスクールといったイベントにも挑戦したいです。

とはいえ、これまで実施したイベントを通じてすでに2社が入会してくれました。その上で、僕の肌感覚としては「もっと実務を知りたい」と感じている参加者が多い気がします。それも、福岡のマンションリノベーションや大阪の買取再販の事例ではなく、宮崎の社会的な背景や課題をベースにした「自分ごと」として考えられる実務。そうした活動が大切なかもしれません。

僕が取り組んでいる歴史的建造物のリノベーション自体も、正直なところ再現性は低いので。それよりも、築古ビルの一棟再活用のような「ビジネスとして成り立つ仕組みづくり」に興味がある人が多い気がしています。

コアなメンバーと、付加価値を高めていく

だからといって会員数をやみくもに増やしたいわけでもないです。もちろん数も大事ですが、まずは想いを共有してくれるコアなメンバーと出会いたい。支部の目標としては、近いうちに10社くらいに



PAAK DESIGNの代表として、またリノベーション協議会の宮崎支部長として多忙な日々を過ごす鬼東氏。



1_ 飢肥城下町の一棟貸し宿「PAAK HOTEL 犀」。初挑戦の宿泊施設として、古民家改修のノウハウを蓄積するため数々の実験的な試みを行った。

2、3_アップサイクルショップ「PAAK STOCK」を運営。工事や遺品整理で出る不用品を引き取り、再び社会に循環させる活動にも取り組む。空間だけでなく「モノ」にも焦点をあてリノベーションを追求している。

増えるといいなあと思っています。

例えば、末竹さん（リノリビング）が取り組んでいるようなサウナの事例は、宮崎でも興味を持つ人がいるかもしれません。住宅よりも、店舗などの商業的取り組みの方が、リノベーションとの相性はいいかも。僕はお金のことを考えるのも好きなので、付加価値をつけることでビジネスとしても成立する取り組みを、今後は行政や地域の皆さんと一緒に考えていきたいです。

宮崎の特性を活かし、ニーズを作り出していく

実際のところ、PAAK DESIGNも設計業より宿泊業の売上が大きくなりました。人口が減っていく中で、今後も設計受注を大きく伸ばしていくのは難しい。

い。将来的には工務店も減少して、受注件数が限られていく。設計しても工事ができないという未来が考えられます。このような状況を踏まえて、僕たちの会社はノウハウを提供するコンサルティング的な業態に変化していくことを目指しています。言い換えると、建設ビジネスの「もっと上流」に携わり、ニーズ自体を創り出していくことを目的にすべきだと考えています。

自然に恵まれた宮崎の地域性やおだやかな県民性も活かし、資本主義的になり過ぎないスローな活動を目指していくつもりです。それと共に、これまで支部設立を助けてくれた方々への恩返しとなるような活動にも取り組んでいきます。いまのところインバウンド需要もあまり影響がないので、ぜひ飢肥まで遊びに来てください。城下町での取り組みや、当社のビジネスをご案内させていただきます。

先達に学ぶ

〈インタビュー〉

リノベーション協議会
九州沖縄部会 事務局長
山崎大亮(株式会社はびりの)



ROYでの受賞歴も多い鬼東支部長ですが、優れた設計力だけでなく、ビジネスセンスもある方です。コロナ禍以降、収益の多角化を目指す中で宿泊業に挑戦したものの、ビジネスとしては成り立っていなかったり、すでに撤退した事業者もいます。そんな中でも挑戦を続け、実際に結果を出している。小規模な事業者にとって、簡単なようで難しい取り組みを続けています。

地方に根差し、ビジネスを継続することが難しい時代です。国土の面積から考えると、東京や福岡など都市のライフスタイルこそ異質です。それでも、人も情報も、そしてお金も都市へと流れています。そんな中で、どうすれば地方で理想を実現できるのか。

チャレンジすることは大切ですが、継続することはもっと難しい。クールなアイデアが浮かび、リノベーションができて、ビジネスとして継続させることは簡単ではありません。そんな荒波を乗り越えていくためには、やはり頼れる仲間が必要です。新しく生まれた宮崎支部が鬼東支部長を中心に成長し、互いに助け合える組織となるよう心から祈念しています。

Column

自己実現欲求を満たすリノベーション
written by virtual 松山真介

リノベーションはもはや「古くなった家を蘇らせる」手段ではなくなりました。市場が成熟し、多様なマーケットへと進化し、マズローの欲求5段階説でいう最上位「自己実現欲求」を満たす住まいづくりの需要も顕在化してきました。

弊社のタワーマンションの一角を舞台に、なんと2,000万円を投じた造作キッチンを中心に据えたりリノベーション事例は、その象徴です。キッチンといっても単なる調理場ではなく、星付きレストランの舞台をも凌駕す

るスペック。ビルトインのワインセラーが来客を誘う。シェフも羨むくらい。必要かどうか？と問われれば「人生をフルコースで楽しむには必要です」と胸を張りたい。

かつては安全、快適を満たすだけで十分だったリノベも、いまや「自分を表現する装置」へ。タワーマンションの高層から福岡の街を見下ろしながら、自分らしさを料理するこの贅沢は、市場が成熟したからこそ生まれた新たな幸福のかたちである。

と、Chat GPT5（有料版）が述べています。これをすごいと思うか、まだまだと思うか。皆さんの判断にお任せします。



リノベーション協議会
九州沖縄エリア部会長
松山真介